

# 25年10月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成25年 9月20日～ 10月10日

## 2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
10月分の回答企業数は10社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
入荷動向	国産材	6.3	6.3	0.0
	外材	12.5	△ 12.5	△ 12.5
在庫動向	国産材	△ 25.0	△ 31.3	△ 31.3
	外材	31.3	25.0	6.3

ラミナ入荷は、国産材は10月、11月はプラスで推移し12月は横ばい。外材は10月のプラスから11、12月はマイナスに。  
在庫は、国産材はマイナス基調、外材はプラス基調で推移。

### (2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
国産材	27.8	33.3	27.8
欧州材	18.8	12.5	0.0
その他	50.0	0.0	0.0

ラミナ購入価格動向は、国産材は強含み、欧州材及びその他は強含みから保合。

## モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・国産材ラミナを他社から購入予定。国産材の在庫常でない状態。・9月下旬頃から道産ラミナ入荷ペース悪くなっている。天候不順と森林整備の影響。製品受注部材の影響で一部在庫ラミナサイズに偏りがある。入荷はヒノキのラミナをもっと進めたいが、仕入先の原木調達がうまくいかない様子で集まらない。・RWは予定通りの入荷。在庫は少々増加。国産材丸太の出材が不調原木価格が高騰。

(ラミナ価格動向)

・欧州材は安くするところ、前回同値のところもある。・10月以降原木不足による丸太価格上昇は必至。・RW入荷ラミナの高値は続いている。

## 25年10月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

## (3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
生産動向	国産材	43.8	50.0	37.5
	WW集成管柱	△ 20.0	△ 10.0	△ 10.0
	RW集成平角	7.1	14.3	21.4
	米マツ集成平角	25.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	27.8	27.8	22.2
	WW集成管柱	△ 40.0	△ 20.0	△ 10.0
	RW集成平角	14.3	14.3	21.4
	米マツ集成平角	25.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—

集成材生産動向は、国産材は大きなプラス基調、RW集成平角もプラス基調で推移、米マツ集成平角は10月は大きなプラスで11、12月は横ばい、WW集成管柱はマイナス基調で推移。

出荷は、国産材及びRW集成平角はプラス基調で推移、米マツ集成平角は10月は大きなプラスで11、12月は横ばい、WW集成管柱はマイナス基調で推移。

## (4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
スギ集成管柱	0.0	△ 7.1	△ 7.1
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	△ 50.0	△ 10.0	0.0
RW集成平角	△ 42.9	△ 7.1	0.0
米マツ集成平角	△ 25.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	0.0	0.0	0.0

集成材出荷価格は、スギ集成管柱は10月の横ばいから11、12月はマイナスに、ヒノキ集成柱、土台、カラマツ集成土台、米ヒバ土台角及びカラマツ集成平角は横ばいで推移、WW集成管柱、RW集成平角、米マツ集成平角はマイナスないし横ばいで推移。

## モニターからのコメント

## (構造用集成材荷動き)

・自社製材工場の出材悪く生産少し落ちている、柱は国産材多く、WWは減少させる予定。・木材利用ポイント、地域型ブランド化事業等一般物件の需要堅調、加えて非住宅低層物件の引き合いも増え、荷動き良好。特にカラマツEW横架材の引き合い旺盛、また木材利用ポイントによるカラマツAQ土台、スギEW管柱の需要も増加しており、フル生産続く見通し。・ヒノキ集成材引き合い増えているが生産キャパいっぱいであり増産できない。・RW10月の生産量、前月比20%増。出荷も前月比増加、荷動き鈍化傾向も終わりか。木材利用ポイントの実施によりスギ柱、ヒノキ土台等が微増。

## (構造用集成材出荷価格動向)

・全て自社内、グループ内消費のため価格変動なし。・国産材の引き合い堅調で一部丸太不足により原材料値上げ機運高まりつつあるが、輸入材との兼ね合いもあり、更なる値上げは難しい様相。・RWは一部メーカーの安売りの影響もあり、低価格となってきた、1~2カ月続く見込み。